

令和元年度「地域とともにある学校づくり」推進協議会

場所：竹田市総合文化ホール「グランツたけた」

大分県教育委員会では、将来の地域を担う子どもを社会全体で育むため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の普及推進を図り、地域の教育力を結集した「地域とともにある学校づくり」を推進しています。

1月15日（水）、竹田市総合文化ホール「グランツたけた」において、標記協議会が開催されました。県下各地から243名という多くの方の参加があり、学校運営協議会委員や地域の方々の参加も多数ありました。『コミュニティ・スクールの進展』は、来年度より始まる「芯の通った学校組織」第3ステージにおいても重点項目のひとつとなっています。県下各地での今後の取組において参考となるものになりました。

管内からは、竹田市立菅生小学校 吉岡 次郎 校長が、菅生小学校区における「学校・家庭・地域との連携の実際」について実践発表を行いました。

講演 「子供が育つコミュニティ・スクール
～『共育基盤づくり』から『協働のまちづくり』～
講師 福岡県春日市教育委員会
教育長 山本 直俊 氏



実践発表後に、「まとめ」として、山本 直俊 教育長に助言をしていただきました。



今年度の取組から...
竹田市立菅生小学校
校長 吉岡 次郎 氏

佐伯市立彦陽中学校
校長 古谷 俊之 氏



大分県の「地域とともにある学校づくり」+「学校を核とした地域づくり」推進

育成を目指す子ども像の共有 ～ 何のためのコミュニティ・スクールか？ ～

- 学力向上「進学・安心の学校づくり」など、学校運営協議会を盛り込むことで効果は高まります。
- 人材育成は、「芯の通った子どもを育てたいのか（育育を目標とする学校）」を、学校・家庭・地域がともに考え、議論することで、そして、学校運営協議会や作業部会に関わる人たちが「何のためにこの活動をしているのか」を共有することも重要です。
- 「何のために」を共有することで、「協議」と「協議」の両方、学校・家庭・地域の「協働」により、互いに閉鎖（結果）を実現することが出来ます。

目標協働推進活動（地域学校協働活動）

学校運営協議会の作業部会と「協育」ネットワーク活動の融合

協育ネットワーク

協育ネットワーク会議

放課後の教育活動

土曜日の教育活動

家庭教育支援活動

年間活動計画（例）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 学校運営協議会（仮）の発足	2. 学校運営協議会委員の選任	3. 学校運営協議会委員の選任	4. 学校運営協議会委員の選任	5. 学校運営協議会委員の選任	6. 学校運営協議会委員の選任	7. 学校運営協議会委員の選任	8. 学校運営協議会委員の選任	9. 学校運営協議会委員の選任	10. 学校運営協議会委員の選任	11. 学校運営協議会委員の選任	12. 学校運営協議会委員の選任

県教育庁社会教育課
指導主事 栗本 寛 氏